

ふじおか
＜藤岡地域＞

■白兼の桜

げんな
元和三年（1617）、家康公の遺言ゆいごんにより、家康公の棺ひつぎを久

のうさん
能山より日光へ移す折、朝廷の名代役をつとめていた歌人・烏丸からすまる

だいなごんふじわらみつひろきょう りいへいし
大納言藤原光弘郷は、例幣使とうしょうぐうとなって再び日光東照宮社山の折、

きと たす
帰途、現地を尋ね、つぎの歌を残している。

「はるばると尋ね太田の八重一重 塚も名高きさくら木の里」